

東海地区協会（名古屋大学）

1. 国立大学関係（8館）

（1）東海地区国立大学附属図書館長懇談会

平成16年5月7日（金）名古屋大学附属図書館において開催され、法人化後の国立大学の図書館組織の在り方などについて、また電子ジャーナル導入経費の確保の方策や、雑誌高騰化に対する各大学の対策などについて広く意見交換をした。

（2）東海地区国立大学図書館協会事務連絡会

平成16年12月1日（水）名古屋大学附属図書館において開催され、国立七大学図書館協議会、国公立大学図書館協力委員会、国立大学図書館協会理事会、特別委員会等及び東海地区図書館協議会の設立等についての報告が行われた。

その後、次年度での文部科学大臣等への要望事項提出案、17年度の図書館職員採用試験、地区内での図書館職員の人事交流などについて協議した。

（3）東海地区国立大学図書館協会総会

平成17年4月22日（金）名古屋工業大学附属図書館を当番館として開催され、地区協会の会長館の選出に続いて、東海地区が当番地区として開催される平成17年度全国総会の準備、NACSIS-CAT/ILLの課題解決、国大図協での研修企画等について協議した。また、大学図書館と地域の公共図書館との連携のあり方、インターネットなどを利用した図書の直接購入の可能性、研究室等所蔵の図書館資料の管理などについても意見交換を行った。

2. 国公立大学関係（84館）

（1）東海地区大学図書館協議会第58回総会・研究集会

平成16年7月14日（水）南山大学瀬戸キャンパスにおいて開催され、午前中は平成15年度事業報告、決算報告、平成16年度事業計画、予算案等について、加盟館間での利用に際しての紹介状制度廃止について及び東海地区の公共図書館と大学図書館の連携についての審議ならびに永年勤続者の表彰が行われた。

午後は、「図書館の活性化へ向けて - 学生との対話・コラボレーションの試み -」をテーマとした研究集会が開催され、金沢工業大学ライブラリーセンター、中京大学図書館及び南山大学図書館からの事例報告があり、続いてパネルディスカッションが行われた。

（2）研修会

第1回

日 時：平成16年12月17日（金）

場 所：名古屋大学附属図書館

参加者：45機関 80人

テーマ：「電子的学術情報利用の進展と今後の展望」

報告1：「名古屋大学における電子図書館化計画 - 機関リポジトリ構築計画を中心にして」（名古屋大学附属図書館 郡司久氏）

報告2：「医学系図書館の電子ジャーナル状況と日本医学図書館協会電子ジャーナル・コンソーシアムの現状」（愛知医科大学医学情報センター 坪内政義氏）

報告3：「電子ジャーナルの利点と課題 - サイエンス・ダイレクトを例に -」（エルゼビアジャパン社 高橋昭治氏）

第2回

日 時：平成17年3月3日(木)

場 所：ぱるるプラザGIFU(岐阜市) 当番：岐阜大学

参加者：31機関 52人

テーマ：「大学図書館におけるアウトソーシング」

報告1：「日本福祉大学附属図書館におけるアウトソーシング」(日本福祉大学附属図書館 岡崎佳子氏)

報告2：「アウトソーシングを活用した大学図書館運営 - 立命館大学における現状と課題 - 」(立命館大学総合情報センター 田中康雄氏)

報告3：「アウトソーサーからみたアウトソーシング」((株)図書館流通センター)

3. 公共図書館との連携

(1) 東海地区図書館協議会

平成16年1月から東海4県の県立図書館、名古屋市鶴舞中央図書館と、東海地区大学協議会の国公立大学を代表する8大学図書館との間で、公共図書館と大学図書館との連携・協力を推進する方策を検討してきたが、11月1日に名古屋大学で開催された「第2回東海地区公共図書館・大学図書館館長懇談会」において、連携・協力に向けての組織を立ち上げ事業の推進を図るという基本的合意に達し、上記の13図書館を理事館とする東海地区図書館協議会が設立された。

協議会が実施する事業については、連携・協力検討部会での議論を更に詰めて、公共図書館と大学図書館とが共に実施できるものから、また参加できる館から順次実施し、活動を広げていくことで合意をしている。